

(別添)

2020年3月26日
NITE(ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

ついうっかりでガス漏れ・引火の事故が！
～ガス栓の接続を点検しましょう～

—中国5県版—

1. ガス供給器具の事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、ガス供給器具^{※2}の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2009年度から2018年度までの10年間に13件^{※3}ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) ガス栓、ソケット及びゴム管・ガスコード等。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」ガス供給器具の事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」ガス供給器具の事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2009年度				1		1
2010年度				1		1
2011年度			1	2		3
2012年度				2		2
2013年度						0
2014年度			1			1
2015年度						0
2016年度		1		2		3
2017年度				1	1	2
2018年度						0
合計	0	1	2	9	1	13

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」ガス供給器具の事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」ガス供給器具の事故発生件数

被害状況 ^{※3}		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡						0
	重傷						0
	軽傷				2		2
物的被害	拡大被害			1	6	1	8
	製品破損		1	1	1		3
被害なし							0
合計		0	1	2	9	1	13

- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生したガス供給器具の事故の主な事例を示します。

① 設置不良によりガス漏れが発生し、引火したもの。

2012年7月（広島県、年齢不明・男性、拡大被害）

【事故の内容】

ガスこんろの点火試験中、当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

ガス栓をガスこんろに再接続する際に、接続部に締め付け不良があり、その後の開栓作業において、作業手順にある漏洩検査を実施しなかったため、ガス漏れが発生して、こんろの点火試験をした際に漏れたガスが引火したものと推定される。

② 不使用側のガス栓を開いてしまったため微量のガスが漏れ、引火したもの。

2016年7月（広島県、80歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

ガスこんろを使用中、ガス栓付近から火が出て、周辺が焦げた。

【事故の原因】

被害者が2口ガス栓の不使用側を誤って開にしたため、不完全に装着されていた保護キャップの隙間から過流出安全機構が作動しない程度のガスが漏洩し、ガスこんろの火で漏れたガスに引火したものと推定される。

③ 炊飯器に接続したガス管に繰り返し曲げを加えたため、破損してガス漏れが起き、引火したもの。

2016年9月（島根県、年齢・性別不明、製品破損）

【事故の内容】

商業施設の厨房で当該製品に炊飯器を接続して使用していたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品を接続していたガス炊飯器を使用の度に移動していたことから、当該製品とガス炊飯器の接続部付近に応力が加わったため、ゴム層に亀裂が生じ、ガス炊飯器の種火が漏れ出したガスに引火したものと推定される。

3. ガス供給器具の事故の実験映像について

ガス供給器具の事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所
担当者：灰川、木下、折田
電話：082-211-0411

以上